

和紙を壁に貼るための施工方法（向こう糊）

ファイバーペーパーの場合

書類番号	
ページ番号	1/1

施工前の注意点

- 下地部分に凹凸がある場合は、下地処理を行ってください。（シーラ、パテ処理等）。
- 下地部分に色ムラがある場合、透ける可能性がございますので、弊社提供サンプルにて十分に問題がないかの確認を行ってください。
- 下地に湿気がある場合は十分に乾燥させてください。
- 下地表面に汚れが付着している場合は、汚れを落としてから施工してください。
- 施工は5℃以上で行ってください。

和紙を壁に貼る際に使用する道具

名称	使用用途
糊	※糊の種類については、下記を参照
糊盆	糊を入れるための容器
糊刷毛又はローラー	糊を和紙に塗布する際に使用
フィルム	壁に和紙を押さえる際に使用
撫刷毛又はローラー	壁に和紙を貼る際に使用
カッター及び定規	必要に応じて和紙の大きさを調整する

弊社推奨製品 ※ 糊には、でんぶん・酢酸ビニル樹脂配合のゼロホルマリンタイプを使用。

・ウォールボンド 105 <http://www.wallbond.jp/gwb105.htm>

・ヤヨイ化学工業(株) ルーアマイルド

http://www.yayoikagaku.co.jp/category/hekisou/No_213-701.html

注意点

ファイバーペーパーは通常内照用で作られているため、透けやすいです。

下地に塗装等する必要があります。

施工方法（向こう糊）

- ① 壁面に撫で刷毛、ローラー等で糊付けします。
※水分を含ませると伸びやすい紙のため、糊はあまり希釈しない方が良いです。
広い面積の場合は少しずつ糊付けします
- ② 壁面上部から和紙の上にフィルムを置いて、押さえるように貼っていきます。
※和紙に繊維質が多いため、直接刷毛を使うよりフィルム越しに押さえるように貼ると紙が痛みません。
- ③ 続けて貼る場合、1-2cm程度重ね貼りをします。重なった場所をジュラコンローラー等で押さえます。
※重なる場所で剥がれている場所などがある場合、純でん粉糊を少し希釈して修正に使用すると跡が残りにくいです。

補足：和紙の種類やご利用場所の環境などによって施工方法が異なりますので必ずしも上記内容の施工方法ではありません。